

\*\*\*\*\*2006.11.1\*\*\*\*\*

CGL NEWS II Vol.2

Conference on Green Logistics in Japan

<http://www.logistics.or.jp/green/>

\*\*\*\*\*

『CGL NEWS II』は、第2期ロジスティクス環境会議メンバーの方々を対象として、毎月2回の頻度で、環境会議の活動状況と行政動向に関する情報提供を発信して参ります。

※お知らせすべきニュースがある場合は、都度発信させていただきます。

<目次>

- 1 グリーン物流研究会
  - ・活動報告
  - ・研究会ブログについて
- 2 グリーンサプライチェーン推進委員会
  - ・活動報告
  - ・分科会について
- 3 CO2削減推進委員会
  - ・活動報告
  - ・改正省エネ法対応ヒント集作成用アンケート
  - ・自主分科会について
- 4 グリーン物流パートナーシップ会議 シンボルマーク名称募集

★-----

グリーン物流研究会

★-----

●グリーン物流研究会活動報告

グリーン物流研究会では、環境負荷低減活動を推進するため、参加メンバーやゲストスピーカーからグリーン物流の各種施策の先進事例の情報収集、関連する施設の現場見学等を通じて、実践的な改善施策を研究することを目的としております。ここでは、第1回及び第2回の活動について、ご報告いたします。

---

<第1回研究会> 2006年9月25日(月)開催

グリーン物流の総論的な話、取組について、ご紹介いただきました。

(発表1) 「ロジスティクスと環境問題」  
岩尾 詠一郎氏(専修大学 商学部 講師)

(概要)

- ・ロジスティクスの定義
- ・環境問題の分類と現状
- ・都市内物流における現状
- ・駐車時間の削減
- ・都市内共同配送
- ・商慣習の見直し

配布資料は下記に掲載されております。(1.6MB)

[http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/pdf/060925\\_greenken01.pdf](http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/pdf/060925_greenken01.pdf)

(発表2) 「日本通運における環境保全への取組」  
麦田 耕治氏(日本通運株式会社 環境部 専任部長)

(概要)

- ・日本通運での環境対策
- ・省エネ法が規定している運輸部門での対策
- ・省エネ法施行後の経緯概要
- ・対策事例

(下記ブログに幹事下村氏のコメントも掲載されております。)

<http://plaza.rakuten.co.jp/greenlogistics/diary/200609250000/>

---

<第2回研究会>2006年10月26日(木)開催

本年4月に施行されました「改正省エネ法」の荷主対応に焦点を絞り  
資源エネルギー庁村山氏の発表と、荷主、物流子会社、物流事業者をパネリストとしてのパ  
ネルディスカッションを開催いたしました。

(発表)「荷主と物流事業者の協調に向けて」

村山 智氏(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部  
省エネルギー対策課 課長補佐)

(概要)

- ・日本の省エネルギー政策の歴史
- ・05年省エネ法改正の背景
- ・改正省エネ法の輸送に係る措置

配布資料は下記に掲載されております。(700KB)

[http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/pdf/061026\\_greenken01.pdf](http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/pdf/061026_greenken01.pdf)

(パネルディスカッション)

「改正省エネ法 荷主に係る措置への対応とその課題」

- ・コーディネータ  
河野 義信氏(グリーン物流研究会 副幹事  
(新日本製鐵株式会社 営業総括部 マネジャー(物流技術))
- ・パネリスト  
村山 智氏(経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部  
省エネルギー対策課 課長補佐)  
桜井 保氏(明治乳業株式会社 物流部 係長)  
石崎 雅規氏(東芝物流株式会社 物流技術部 品質・環境管理部 参事)  
大山 茂夫氏(第一貨物株式会社 営業本部 業務第二部 部長)

(討議テーマ)

- ・各社の取組状況について
- ・エネルギー使用量算定状況(算定方法、原単位等)
- ・エネルギー使用量削減活動
- ・行政への要望

---

●グリーン物流研究会ブログについて

幹事の下村氏を中心に、グリーン物流研究会のブログを開設しております。  
研究会の内容以外にも関連書籍の紹介等も掲載しておりますので、  
ご興味のある方はご確認ください。

(グリーン物流研究会メンバー以外でも書き込み可能です。)

<http://plaza.rakuten.co.jp/greenlogistics/>

★-----

グリーンサプライチェーン推進委員会

★-----

●活動報告と分科会活動について

グリーンサプライチェーン推進委員会では、製品の規格、設計等の源流段階から調達、生産、販売、回収等の物流プロセスの環境負荷を低減するため、発荷主、着荷主、物流事業者間で問題、課題を共有し、解決の方向性、施策を検討することを目的として活動をすすめております。

第1回委員会を10月6日（金）に開催し、活動内容の大枠について審議いたしました。本委員会については、以下の2分科会にて活動を行うこととなりました。（委員会開催時に分かれて検討を行います。）

<取引条件分科会>

幹事

山本委員長（株式会社日通総合研究所 物流技術環境部 担当部長）、  
恒吉副委員長（味の素株式会社 食品カンパニー 物流企画部 企画グループ長）

<源流管理部分科会>

幹事

矢野副委員長（流通経済大学 流通情報学部 教授）、  
菅田副委員長（リコーロジスティクス株式会社 経営管理本部 副本部長）

委員会への途中からの参加登録も可能となっておりますので、参加登録を希望される方は下記宛にご連絡ください。

ロジスティクス環境推進センター 小川

[ogawa@logistics.or.jp](mailto:ogawa@logistics.or.jp)

TEL：03-5484-4021

（委員会配布資料、議事録は下記をご参照下さい。）

<http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/index.html>

★-----

CO2削減推進委員会

★-----

●活動報告

CO2削減推進委員会は、企業のCO2削減活動を推進するため、改正省エネルギー法等の関連法制度への対応も踏まえ、荷主企業と物流企業のパートナーシップによる継続的な改善活動を推進するうえでの問題点、課題を整理し、解決策を検討することを目的として活動をすすめております。

第1回委員会を9月29日（金）、第2回委員会を10月27日（金）に開催し、委員会の活動内容および今年度作成を行う「改正省エネ法対応ヒント集」のためのアンケートについて審議が行われました。

（委員会配布資料、議事録は下記をご参照下さい。）

<http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/index.html>

●改正省エネ法対応ヒント集作成用アンケート

本アンケートは、

- ①改正省エネ法において、特定荷主に報告が義務付けられているエネルギー使用量算定等に関する取組状況及び問題、課題の収集
- ②荷主及び輸送事業者がCO2排出量削減のための施策立案及び施策実施の際にヒントとなる情報収集等を目的に実施いたします。

具体的には、2種類の調査票により、実施いたします。

(調査票A)

ある特定の輸送区間（もしくは1運行）を選択していただき、当該輸送区間についての、①算定に関する事項、②輸送区間におけるCO2排出量削減にあたり課題として考える事項や改善のために実施したい施策について

(調査票B)

原単位算定に用いる、エネルギー使用量と密接な関係を持つ値及び改正省エネ法全般に関しての意見等について

なお、アンケート対象者はCO2削減推進委員会メンバーとしておりますが（すでにアンケート票をメール送付済）、当該委員会メンバー以外の環境会議メンバーでも回答可能ですので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

アンケート票は下記ページの最下段に掲載されております。

<http://www.logistics.or.jp/green/shiryo/index.html>

【〆切】 11月27日（月）

【回答先】 ロジスティクス環境推進センター

[cgl@logistics.or.jp](mailto:cgl@logistics.or.jp)

【問い合わせ先】 ロジスティクス環境推進センター 栗原、北條、小川

TEL：03-5484-4021

[cgl@logistics.or.jp](mailto:cgl@logistics.or.jp)

---

#### ●自主分科会について

CO2削減推進委員会メンバーより、「改正省エネ法の定期報告書作成のトライアルを実施してはどうか」との意見を受け、審議を行った結果、定期報告書作成に関するプロセスやノウハウ、疑問点について話し合う場として、以下のとおり、自主分科会を設置してはどうかとの結論にいたりしました。

(活動内容等)

定期報告書の作成に関するプロセスやノウハウ、疑問点等について、自主分科会メンバー同士での情報交流を目的に活動を行います。参加対象者は報告書作成義務のある特定荷主（含む特定荷主を親会社に持つ物流子会社）、特定輸送事業者に限らず、改正省エネ法で定められた算定方法を用い、自社のエネルギー使用量等の取りまとめを実施してみたいと考える環境会議参加メンバー企業といたします。なお、具体的な活動内容（定期報告書作成のトライアル実施の有無を含めて）、開催頻度等については、自主分科会メンバーで議論し、決定いたします。

(CO2削減推進委員会との関係)

自主分科会という位置づけのため、分科会における活動内容、活動成果について委員会への報告は任意といたします。ただし、自主分科会の中で、委員会（環境会議）として対応が必要な事項（例 行政への提言が必要な事項等）があった場合、委員会へ報告することといたします。

(その他)

メンバーの自主的な運営と基本とすることから、JILS事務局としては、本自主分科会の運営等について特に何も行いません。（ただし、依頼があった場合、JILS会議室の貸し出し等は実施いたします。）

参加希望がある一定人数に達した場合のみ、上記自主分科会を設置したいと思います。つきましては、参加を希望される方は、11月8日（水）までに下記宛にご連絡ください。（参加を希望されない方は連絡不要です。）

ロジスティクス環境推進センター 小川

[ogawa@logistics.or.jp](mailto:ogawa@logistics.or.jp)

★-----

グリーン物流パートナーシップ シンボルマーク名称募集

★-----

グリーン物流パートナーシップ会議は、荷主企業と物流事業者が協力してグリーン物流（環境にやさしい物流）を推進するため、経済産業省、国土交通省、日本物流団体連合会、日本経済団体連合会、そしてJ I L Sにより 2005 年 4 月に設立されました。

この取組みをより広く知っていただくため、昨年、シンボルマークを作成しましたが、今回、このマークにグリーン物流（環境にやさしい物流）の普及にふさわしい名前を募集しております。どなたでも応募可能となっておりますので、会社の方のみならず、ご友人やお子様と一緒に名称のご検討いただければ幸いです。

応募期間：2006 年 10 月 10 日（火）～11 月 10 日（金）

応募資格：どなたでも応募できます

審査発表：2006 年 12 月上旬

グリーン物流パートナーシップ会議ホームページ上で発表するとともに、受賞者の方にご連絡いたします。

賞：大賞（1 点） 賞状及び記念品

シンボルマーク、応募方法等の詳細は下記 URL

（応募も可能になっております。）

[http://www.greenpartnership.jp/chara\\_name/](http://www.greenpartnership.jp/chara_name/)